

地域医療充実へ連携を

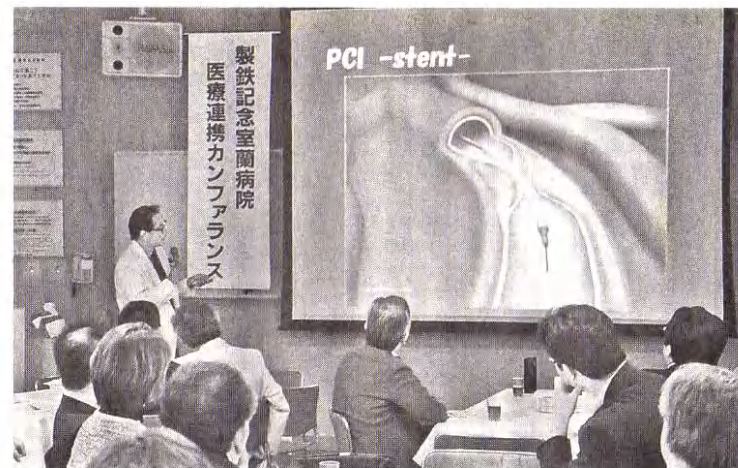
製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）は22日夜、「医療連携カンファランス」を同病院で開いた。製鉄記念病院の医師が治療例などを講演し、参加した西胆振の医療関係者に地域連携の協力を呼びかけた。（相沢宏）

カンファランスは、急病や症状が重い「急性期」の患者を受け入れる同病院と、他の病院とのつながりを深めようと毎年開いている。医師、看護師ら約50人が参加した。

同病院の松木高雪病院長（循環器内科）が、血管内にカテーテルを挿入して詰まりを改善する「経皮的冠動脈形成術」などの手術例を紹介した。

前田征洋副院長（消化器・血液腫瘍内科）は、同病院で行ったがん患者の手術のうち、他の医療機関から紹介を受けた患者が全体の約4割を占めると紹介。同病院では8月末に「がん診療センター」が完成することから、「新たに放射線治療ができるようになる。他病院・医院とともに地域医療の充実につなげたい」と話した。

製鉄記念室蘭病院 「カンファランス」



医療機関の連携の必要性を強調した製鉄記念室蘭病院の「医療連携カンファランス」